

コーチング解体新書

～やる気を引き出す源泉を探る～

その58 選択に迷ったら、
ビジョンをつかえ！



猪俣 恭子
中央大学文学部卒
卒業後足利銀行に7年間勤務。窓口業務を経て、人事部研修グループで行内研修の企画・運営および講師を担当。退職後は家業の印刷会社に従事。2004年からはコーチングを用いた社内の人材育成を手掛け、「良質なコミュニケーションが実現されている現場こそがビジネスの成功をうむ」と実感し、2006年 Coaching Press 株式会社を設立、代表取締役として現在に至る。
国際コーチ連盟プロフェッショナル認定コーチ
財生涯学習開発財団認定マスターコーチ
コーチエィCTPクラスコーチ
米国CCE,Inc.認定 GCDF-Japanキャリアカウンセラー

アラフォーのAさんの転職相談にのっていたときのことで。Aさんは、内定をいただいた二社のうち、どちらで働いたほうがいいのか、迷いに迷っていました。

「こっちは会社は、仕事がとても魅力的でやってみたいと思うけど、やったらハードルが高くて大変そう。それに通勤時間が片道一時間くらいかかるし…。勤務時間も長いから帰宅が遅くなりますよね。時給もそんなに高くないしなあ。まあ、今までやっていた仕事と似ていますから、何をするかは大体イメージできるんですけどね。」

「こっちは会社は、どちらかというとおっとりとした雰囲気、働いている人数も多いから、かえって人間関係もそんなに苦労しなさそうに思いますね。でも、自分なりにもっと積極的にやりたい、という気持ちをおさえないとまずいかな。何といても家から近いのがとてもいい。時給も結構いいし。勤務時間もそんなに長くないから、自分のペースがつくれるなあ。それに経理関係が経験できるのも、自分にとってはプラスになると思うんですよね。」

Aさんは結婚してこちらに引っ越ししてから日が浅く、しかもご主人は全国転勤という仕事とのことで、それも迷うことの理由のひとつでした。左右に並んだ二枚の求人票を見比べながら、かれこれ一時間近く、ああでもない、こうでもないと言語続けます。

そんな中でも、「ハードルが高くて大変そう」と言っているほうの求人票にちらちらと視線がいつているのが私は気になりました。どちらで働くのがAさんにとっていいのだろう？ もしも私が友人でしたら、「おっとりした雰囲気の会社にしてみれば？ ご主人の転勤を考えると長い期間、働けるわけでもないし、新しい生活に慣れるためにも、あまり気をつかわない環境のほうがいいんじゃない？」と100%アドバイスをしているでしょう。しかしなあ、こんなふうに煮詰まっているときほど、アドバイスって本人にとって役に立たないんだよなあ。そこで、は

たと思い出しました。一週間くらい前にAさんが将来どんな生活をしていきたいのかを語っていたときのことを。そこでこんな質問をしてみました。

「ねえ、Aさんは将来、個人の問題解決のお手伝いをじっくりしたいって言っていたよね。小さくても自分の事務所を持ちたいって。その未来により近づけるほうってどっちなんだろうね？」

「あーっ、なるほどー。」Aさんは感じ入った様子で俯き、しばらく考えこんでいました。そしてぱっと顔をあげ、「それだったら、こっちですね。」と勢いよく手にとった求人票は、なんと「ハードルが高い」と言っていた会社のほうでした。えっ、そっちを選ぶの！ これには私のほうがうなりました。理由を聞いてみると、なんでも面接を担当された女性が、Aさんにとってまさにモデルになる人だったとか。この人のアシスタントになって仕事をすると、たくさんのお話を吸収できるから、とのことでした。

やっぱりなあ、答えはその人の内側にあるんだなあ。大げさかもしれませんが、そのことに感動しました。

「視点があまりにも『今のこと』に向き過ぎていて偏っていましたね。今は考えが広がった感じがして、少しは整理ができました。」そう言ってAさんは笑顔で帰っていかれました。

ビジョンの効用、ここでも発見！ 生きるとは決断の連続。でも、どちらを選ぶか迷ったとき、決定打になるヒントはビジョンにあるのやもしれません。まさにビジョンは人生の羅針盤。といっても、Aさんの考えはあとで変わるかやもしれません。それでもいいのです。今、自分がだした答えがあるっていうのが何よりもいい。それから結局どんな答えにたどりつこうか、自分がだした答えだからこそ責任と自信が持てるようになっていくのだと思います。

あなたの目の前の人は実はどんなビジョンを持っているのでしょうか？ それを訊いてみませんか？



コーチングプレス株式会社

〒336-0021 埼玉県さいたま市南区別所6-17-310 電話 048-863-8914 FAX 020-4665-3162
http://www.coaching-press.com/ (「コーチング解体新書」バックナンバーも掲載中!!)